

令和4年7月6日

埼玉県理学療法士会
会長 南本浩之 様

彩の国連携力育成プロジェクト (SAIPE)
緩和ケア IPW (多職種連携) 研修会 担当
細谷治・堀井徳光 (城西大学)
田口 孝行 (埼玉県立大学)

彩の国連携力育成プロジェクト「緩和ケア IPW 研修会」

後援及びホームページ掲載のお願い

このたび下記の事業について、埼玉県栄養士会のご後援及び貴所ホームページへの広告掲載をお認め下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 事業の名称：彩の国連携力育成プロジェクト「緩和ケア IPW(多職種連携)研修会」(オンライン)
- 2 主催：彩の国連携力育成プロジェクト(埼玉県立大学, 埼玉医科大学, 城西大学, 日本工業大学, 埼玉県)
- 3 開催の目的：緩和ケアにおいて“患者さんの生活の質”, “ケアの質”, “医療の質”を高めるためには多職種連携(専門職連携)が必要とされています。平成24年度から埼玉県内4大学(埼玉県立大学, 埼玉医科大学, 城西大学, 日本工業大学)と埼玉県とが取り組んで来た「彩の国連携力育成プロジェクト」が開発した教育プログラムを用いて、埼玉県内の専門職の“連携力”の育成を目指して研修会を開催します。
- 4 開催期日
2022年11月6日(日)9:30~16:30
- 5 開催会場
Zoom オンライン(Web会議システム)
- 6 事業内容：緩和ケアに特化した利用者中心の統合されたケアを創造するための「利用者・地域の問題解決プロセス」の模擬的多職種連携演習を通して、緩和ケアにおける「チーム形成」、および「組織や機関間・地域連携」にも意図的に目を向け、より良い緩和ケア IPW の方法やあり方を考える機会とします。また、今回の研修会は、オンラインによる遠隔で実施することから、特に「オンラインによる遠隔」と「対面」の「やりとり(連携)」の違いについても考える機会にしたいと思っております。
 - ・緩和ケアと多職種連携(IPW: Inter-professional Work)の基本(講座)
 - ・緩和ケア IPW 演習(模擬患者の協力, 多職種チーム活動)
- 7 参加者等
 - (1) 参加対象者 県内全域の保健医療福祉関係者・実践者等
 - (2) 定員 計50名(各専門職種4~5名程度)
 - (3) 参加料等 無料
- 8 後援依頼団体(予定)(昨年度実績)
埼玉県医師会, 埼玉県歯科医師会, 埼玉県薬剤師会, 埼玉県看護協会, 埼玉県理学療法士会, 埼玉県栄養士会, 埼玉県公認心理師会, 埼玉県社会福祉士会, 埼玉県介護支援専門員協会

<連絡先>

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820
埼玉県立大学 田口(kikaku@spu.ac.jp)